

# 第28回 ミニバスケットボール川口カップ2019

開催日	令和元年12月1日(日)	開催場所	戸塚スポーツセンター
-----	--------------	------	------------

試合区分	男子決勝戦	開始時刻	16:40
------	-------	------	-------

チーム名(淡色)

**朝霞フレンドリーズ**

(東・西・**南**・北・中)地区

チーム名(濃色)

**朝霞ユニオンズ**

(東・西・**南**・北・中)地区

28

8	1Q	6
8	2Q	10
4	3Q	0
8	4Q	4
	OT1	
	OT2	

20

【見出し】

**勝負所でミドルシュートを決めた朝霞フレンドリーズが初優勝！**

【戦評】

○第1クォーター

奇しくも本年度何度も接戦を繰り返してきて手の内を知り尽くしてる市内同士の対戦となった決勝戦。試合序盤から激しいディフェンスでゲームが始まった。両チームとも④を中心にオフェンスを展開する。フレンドリーズが④のポストプレイ、⑧のドライブなどで連続得点しユニオンズを開始から3分以上無得点に抑える見事なディフェンスを見せる。対するユニオンズも⑬の速攻を境に④のブロックなど、ディフェンスからリズムを取り戻し始めて、④、⑥の得点で2点差まで、追いついて第1Qは終了する。

○第2クォーター

第1Qから引き続きお互いにディフェンス、特にリバウンドに集中力を見せる。両チーム⑤が高速ドライブで点を取り合う展開が続く、終了間際ユニオンズ⑤がドライブからのブザービーターを決め、ユニオンズが同点に追いつき第2Qを終了する。

○第3クォーター

両チームとも④、⑤がオフェンスの起点となり攻撃するが、マークが厳しく両チーム3分以上ノーゴールが続く。このままノーゴールが続くかと思われたが、拮抗を破ったのはフレンドリーズ⑥の外角からのシュート。厳しいディフェンスでインサイドが固められたところ、スペースのできた外角から⑥の2本のシュートがきまり試合を動かす。フレンドリーズ4点リードで第3Qを終了する。

○第4クォーター

開始早々、ユニオンズ④が高速ターンからのフェイダウェイシュートで反撃ののろしを上げる。しかしフレンドリーズも④のポストからの見事なアシストパスで追従を許さない。ユニオンズ⑤のドライブですぐさま取り返されるが、フレンドリーズ⑧⑥のミドル、⑧フローターとマークの厳しい④、⑤以外で得点を重ねたフレンドリーズが逃げ切りタイムアップ。フレンドリーズが初の栄冠を手にする。市内同士ながら県の上位でもある両チームの白熱した好ゲーム、今後の対戦も楽しみである。

記入者： 中島 丈晴

埼玉県ミニバスケットボール連盟